

中小畜産農家向け行動監視支援システム



MOH-CAL (もーかる)

(Monitoring system for the Health of cattle developed by CAL)

中小畜産農家様へご提案します！！

牛の管理を 安心・安全・省力化 します。



◎ 牛に機器を取り付けず**行動監視**します。

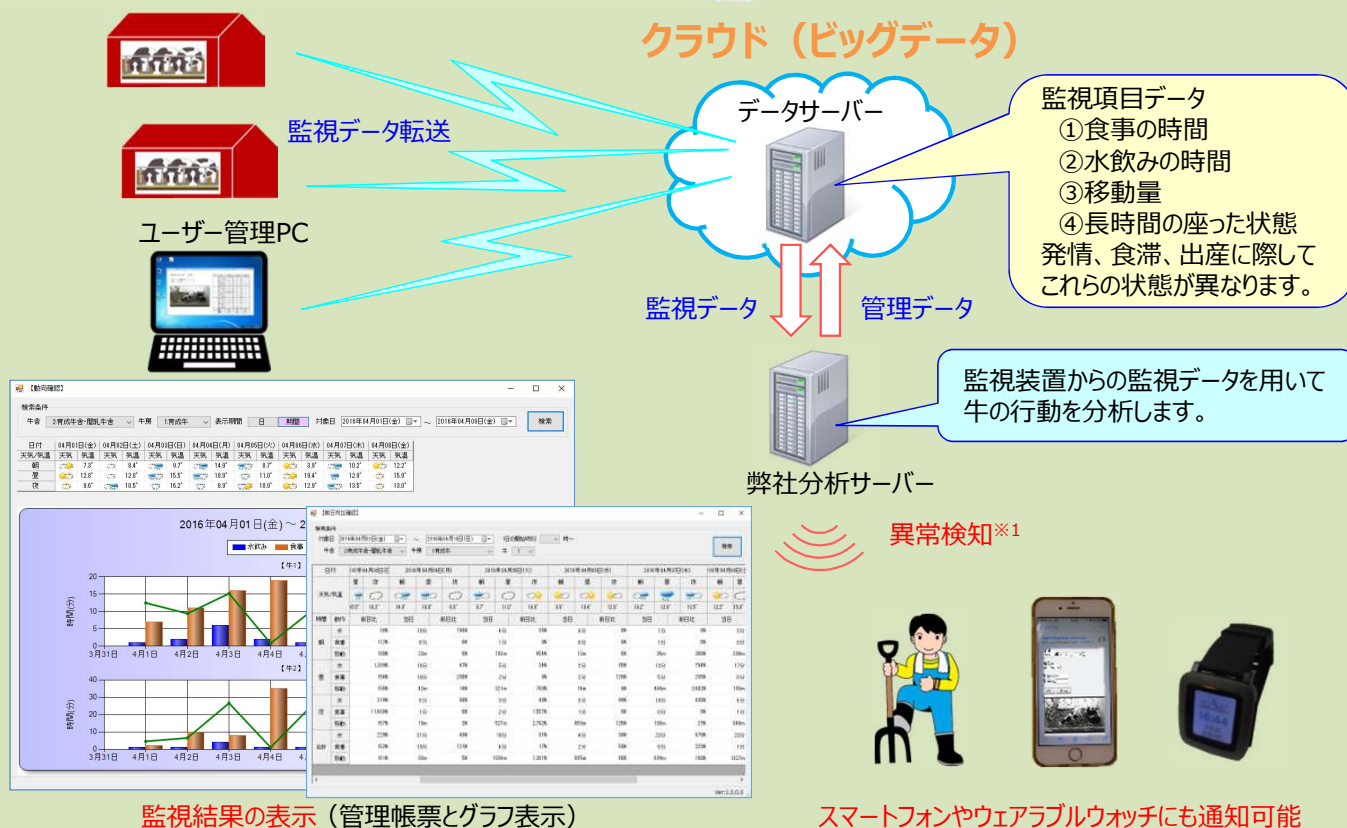
牛のストレス
ゼロ！！

牛の24時間行動監視で早期の異常発見！

- ビッグデータの蓄積・分析により、各種兆候（発情・出産・食滞）を高い精度で早期発見します。
- 分娩事故を防ぎます。
- 食滞事故を防ぎます。
- リアルタイムに朝・昼・夜（暗闇でも）監視します。



MOH-CALの特徴



機器の特徴

牛には何も装置を取り付ける必要はありません。
（牛のストレスは0、農家の労力も0）
監視装置から得られる画像データで牛の行動を分析します。

クラウド利用※2

監視データはクラウド上のデータサーバーに蓄積します。
蓄積データが増えることで、異常判定の精度や速度が向上します。

異常検知

①食事の時間、②水飲みの時間、③移動量、④長時間の座った状態について時刻ごとの管理データを蓄積し、そのデータによって次のことをおこないます。

牛ごとに、前日との状態の急変によって異常検知（朝、昼、夜の時間帯ごと）

育成ステージごとの牛どうしの状態の比較※3によって異常検知

異常検知がされたら、ユーザーのPC、スマートフォン、ウェアラブル端末に通知します。

監視結果の表示

PCやスマートフォンでは監視画像を見ることが可能です。
日々の管理数値データを帳票とグラフで見ることが可能です。

※1 異常検知に関しては、公益財団法人農民教育協会 鯉淵学園農業栄養専門学校の長谷川量平博士監修のもとに開発しました。

※2 クラウドを使用しますのでインターネット環境が必要です。（弊社にて対応可能）

※3 哺乳生、分娩生、育成生、搾乳生、間乳生で管理重点項目が異なるため。

2016年8月現在、哺乳牛、育成牛、間乳牛については完成しており、引き続き分娩牛と搾乳牛についての開発を進めています。

■ 開発元・お問い合わせ先

株式会社 コンピューター総合研究所  Computer Associated Laboratory, Inc.

7312-0045

茨城県ひたちなか市勝田中央4-7 セントラルヤタビル4F

TEL 029-275-3792 FAX 029-274-0748

<http://www.tokyo-cal.co.jp>

【担当】

岡部 : okabe@e-mail.tokyo-cal.co.jp

高崎: takasaki@e-mail.tokyo-cal.co.jp

●カタログの内容は予告無く変更する場合がありますので、ご了承ください。 ●カタログの写真や色は印刷により若干異なる場合があります。